

1 主旨

- [主旨]
地域の代表機関として活躍してきた地域委員会のこれまでの活動を振り返るとともに、地域の現状と課題を総合的な視点から照らし合わせながら、今後の地域づくりに相応しいまちづくりの提案や広聴機能の形について、幅広く議論していただきたい。
- [背景]
○合併後、支所地域におけるまちづくりの検討や広聴の代表機関として、地域委員会を設置
○15年にわたり、地域における振興策や生活課題への対応などを議論。ふるさと創生基金事業や地域の宝磨き上げをはじめ、少子化を背景とする小学校や保育園の統合、交通対策、コミセンの開設、新たな活動の誘発など、様々な成果を創出してきた。
○一方、いずれの地域においても人口減少、高齢化は着実に進んでおり、地域の担い手不足はいずれの地域においても懸念されている。
○そのようななか、地域には区長会や総代会、コミセン協議会など住民代表が集う様々な組織が存在し、広聴機能の効率化を求める意見も散見されるようになってきた。
○また、若い世代の多様な活動が芽生えている地域もあるなかで、次代を担う若者の意見を積極的にまちづくりに活かすことが、地域の活力維持につながるという意見も聞かれる。

2 栃尾地域の現状と課題

(1) 全市人口及び世帯数の推移と将来見通し



※栃尾地域の震災前後の比較

	人口 (人)	高齢化率 (%)
H16.4.1 (震災前)	24,393	29.4
H31.4.1 (震災後)	17,723	41.5
増減	▲ 6,670	12.1

(2) 地域の主な課題

- ・人口減少(高齢化が進み、雪処理の担い手や移動手段の確保など日常生活への不安を感じる)
- ・クマ・サル等の獣害被害
- ・除雪体制の維持確保
- ・福祉の相談窓口のワンストップ化

(3) 広聴組織、団体の状況等

- ・区長会で住民の意見や要望を集約している。
- ・コミュニティ協議会が立ち上がり、地域の課題等を話し合う体制は整っている。
- ・若い世代を中心とした団体により、新たなイベントや取り組みを行っている。

3 栃尾地域委員会が果たしてきたまちづくりへの提案・広聴機能

[まちづくりの提案]

- ・地域の課題について地域委員会で議論や検討を重ね、市へ提案書を提出したことでドクターヘリの離着陸場の整備が計画された。
- ・まちづくり提案書を提出しない場合でも、議論の中で各種施設整備や計画について地域委員会で検討した内容が計画に反映された。(おいらこの湯、子育ての駅すくすく、新たな交流拠点施設 など)

[広聴機能]

- ・委員が住民の意見を拾って意見出しをすることで、一般住民の意見等も反映された。
- ・地域委員会で市の予算や事業などの説明をした際に、市の施策の参考となる貴重な意見が得られた。
- ・区長会役員会との意見交換会を行い、現状や課題の共有ができた。

4 今後の検討テーマ(案)

次のテーマについて幅広く御意見をいただきたい。

- まちづくりに関する地域住民の意見・提案をお聞きする「広聴の仕組み」として
相応しい形は
- 多様な地域課題に対し、実のある検討を柔軟に行う「検討の仕組み」として
相応しい形は